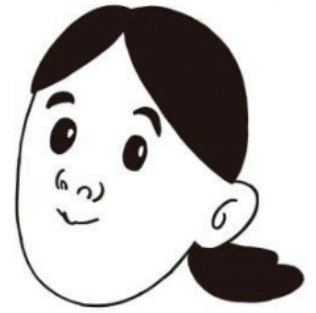


みずま雪絵の 区議会レポート

NO.28 2020/11



〒125-0063 葛飾区白鳥 3-26-13 中村荘 101

TEL 03-6662-7623

FAX 03-6662-7617

e-mail info@mizuma-yukie.org

HP http://mizuma-yukie.org

第3回定例会報告

9月15日～10月14日に第3回定例会が行われ、区長提出議案等34件について審議しましたので、報告致します。

一般会計補正予算（第5号・6号）が可決

2020年度一般会計補正予算（第5号）は、今年4月28日～12月31日までの新生児に対し、1人10万円給付をする新生児特別定額給付金の経費、区内保育所・学童保育クラブ・高齢者福祉施設の新型コロナウイルス感染症防止に係る経費等、合計40億6,400万円の補正予算です。第4号補正予算に続き、財政調整基金から6億3,300万円が繰入られました。

第6号は、高齢者等への季節性インフルエンザ接種費用の無償化に係る経費等、合計5億1,153万円の補正で、いずれも全会一致で可決しました。



意見の分かれた主な議案	自民	公明	区民	共産	颯新	無所属	無所属	無所属	無所属	みずま	無所属
葛飾区金町駅前活動センター条例	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	○
葛飾区特定子ども・子育て支援施設等の基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
令和元年度（平成31年度）葛飾区一般会計歳入歳出決算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○

意見の分かれた主な議案

【議案第49号葛飾区金町駅前活動センター条例】 …みずま反対

金町六丁目駅前地区市街地再開発事業の駅前ビル保留床(3Fフロア)を購入し、区が複合サービス施設を整備するとして、条例を新しくつくるものです。

内容は、集会室、調理実習室、視聴覚室、音楽室、創作室がレイアウト提案に示されています。各地域の地域集会室とも、ほとんど変わらない設備です。

保留床購入だけで 11 億円以上も税金投入をするより、元から身近である、各地域の既存公共施設の同様の設備を充実させるほうが、区民にとって有効な使い方ではないでしょうか。

再開発事業を成り立たせるための税金投入(保留床購入)であると考えます。こういった税金投入を続けていては、いくら税金があっても足りません。見直すべきと考え、反対としましたが賛成多数で可決しました。

【議案第50号葛飾区特定子ども・子育て支援施設等の基準を定める条例】

…みずま反対

消費増税に伴い、昨年10月から幼児教育・保育の無償化が行われています。条例は国の基準を満たさない認可外保育施設を無償化の対象外にするものです。国は、国の基準を満たさない認可外保育施設においては、5年間は無償化の対象としていますが、葛飾区はこれを短縮して来年4月から対象外とするものです。

議案は、「早期に保育の質・向上を図るため」と提案理由を述べています。審議において、みずまは「無償化の対象外の規定をすることが何故、“保育の質の確保・向上”となるのか？」と問いましたが、これに対する区から明確な答弁はありませんでした。

無償化の対象外となり、負担を被るのは、国の基準を満たさない保育施設ではなく、その施設を利用する子ども・保護者です。無償化対象外の施設を利用する区民に負担がいくのは、おかしいことではないでしょうか。

保育の質の確保・向上は重要です。しかし、その為に必要なのは「無償化の対象外施設」とすることでしょうか。人員基準や面積の基準を満たすように、国や自治体の責任で指導を行なうことや現場が疲弊せず子どもの育ちが行なわれるよう制度を作り、財政措置を行なうことが「保育の質の確保・向上」に繋がるのではないのでしょうか。「保育の質の確保・向上」とは本質的に理屈が合わないと考え、議案には反対としましたが、賛成多数で可決となりました。

2019年度 決算審査

2019年度の決算審査では、第一分科会（議会費、総務費、産業経済費、職員費）と第二分科会（福祉費、衛生費）へ所属し、審議をしました。

（※葛飾区議会の予算審査・決算審査は款ごとに4つの分科会で審議します。）

みずまが決算審査で取り上げた一つは、2017年から問い続け、見直しを求めている「**リリオ亀有リノベーションプロジェクト負担金**」についてです。当初の目的（収益・集客のシャワー効果）に対する効果を検証するべきと質疑しました。「**経済・市場の変動があるために検証が困難**」と答弁がありましたが、それならば尚更、**効果が測れない10年協定での税金投入は問題があります**。今後、見直しを求めたいと考えています。

みずまが行なった主な質疑・要望

- ◎総合庁舎整備について再検討が行われることについて、広く区民からの要望や意見を得て計画に反映させるよう、シンポジウム開催を要望
- ◎介護人材の雇用定着について、介護従事者への住宅手当の要望。また、課題を把握して区の施策へ繋げるために、アンケート調査の継続を要望
- ◎保健所について、新型コロナウイルス感染症拡大後、相談業務についての区民からの苦情、区のホームページの感染者情報更新で過誤が発生する等、保健所業務の質が保てない状況になっていると考え、正規職員の増員を要望。

その他の決算に対する意見は、「葛飾区議会だより」をご覧ください。



児童相談所 人材育成は時間をかけて

8月に報道された児童虐待事件について、区は検証委員会を設置しました。区への対応の問題・課題を洗い出し、二度と再発がないようにする必要があります。

区は、2023年児童相談所の開設を目指しており、職員その他自治体への派遣研修等をしてしながら、人材育成をしています。しかし、今般の児童虐待事案は、区の専門職があたりましたが、防ぐことが出来ませんでした。人材育成は経験の蓄積が重要だと考えます。開設時期ありきでなく、人材・体制の質を問いながら、時間をかけ検討すべきではないでしょうか。

区立飯塚幼稚園 廃止 保護者からの請願届かず

区立飯塚幼稚園の新入園児募集停止の見直しを求める請願が保護者から出されました。今定例会では、飯塚幼稚園を廃止する条例議案も出されていきました。

2016年 全会一致で請願採択

飯塚幼稚園については、以前にも廃止の提案がされる計画でした。しかし、2016年第3回定例会で幼稚園に子どもを通わせる保護者らが行なった「今後の運営に関し、保護者も含めた検討を改めて実施を求める」請願が2,227名分の署名と共に提出され、全会一致で採択されました。これを受け、廃止計画は見直しとなり、運営に関する検討会を設置し再検討がされ、当面の間、新入園児募集を継続するということになりました。

唯一の小学校敷地内に併設の幼稚園・幼小連携事業のパイロット的役割 障害等を抱えた未就学児への教育環境確保

昨年と今年度の新入園児の減少から、教育委員会は4歳新入園児の募集停止を報告し、今定例会で飯塚幼稚園の廃止の条例を提出しました。

請願者である保護者から、「唯一の小学校敷地内に併設する幼稚園であり、幼小連携事業のパイロット的役割がある。また障害等を抱えた未就学児への教育環境確保も理想的な形で受け入れてもらっている。」「私立3園から断られたが、飯塚幼稚園には快く受け入れてもらった」という事例も紹介されながら、飯塚幼稚園を一時の園児減少で廃止とせず、在園児保護者のニーズを把握し、区立幼稚園のあり方を分析し入園児募集を検討してもらいたいとの訴えがされました。

飯塚幼稚園は、唯一小学校敷地内に併設する貴重な幼稚園で区立幼稚園としての役割を果たしてきた実績もあります。廃止すべきではないと考え、みずまは紹介議員となり、請願採択に賛成としました。しかし、文教委員会、本会議、共に賛成少数で、請願は不採択となりました。また、飯塚幼稚園の廃止条例は賛成多数で可決されました。

区政/生活/労働 etc お気軽にご相談下さい。

問い合わせは、みずま事務所 TEL・FAX・メールからお願い致します。